



インスピレーションになる

- 《第2530地区活動目標》
1. 会員価値の維持と強化
 2. POLの推進への取り組みと支援
 3. TAKE ACTION
 4. RI戦略計画と中核的価値観の理解と実践
 5. 公共イメージの向上
 6. 全クラブでロータリー賞に挑戦しよう
 7. 研修制度の充実
 8. ロータリー財団への理解と活用
 9. 米山記念奨学会への協力

WEEKLY REPORT OF IIZAKA ROTARY CLUB, DIST. 2530 広報委員会作成

飯坂ロータリークラブ 週報

創立 昭和33年(1958)5月5日
 ガバナー 平井義郎
 ガバナー補佐 渡邊武
 会長 吾妻一夫
 幹事 村上裕司

十月は経済と地域社会の発展月間

2018~2019年度 ◆例会日/木曜日12:30 ◆例会場/かむろみの郷 穴原温泉 匠のこころ 吉川屋
 RI会長 バリー・ラシン 事務局/〒960-0282 福島市飯坂町湯野字新湯6 (吉川屋内) ☎(024)542-2226 Fax(024)542-3604
 イーストナッソー・ロータリークラブ(バハマ)

通算

10月は特別月間:米山月間

第15回 [2936] 例会報告 平成30年(2018)10月18日(木)

出席委員会報告

会員総数	37名
出席会員	30名
欠席会員	7名
出席率	81.08%

言行はこれに照らしてから

四つのテスト

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなの為になるかどうか

- ◆開会点鐘 吾妻一夫 会長
- ◆ロータリーソング [それこそロータリー] 渡辺達也 会員
- ◆四つのテストの唱和 西山友幸 職業奉仕委員

◆お客様紹介 飯坂消防署 署長 金子照夫 様

- 福島しんたつロータリークラブ 副会長 西川博美 様【職業分類: サッシ販売】
 - 福島しんたつロータリークラブ 会長エレクト 引地勝則 様【職業分類: 設計業】
 - 福島しんたつロータリークラブ 伊藤 彰 様【職業分類: 不動産業】
 - 福島しんたつロータリークラブ 菅野将弘 様【職業分類: 観光業】
- 2018 (平成30年) 学年ロータリー米山記念奨学生 レー クエン ダットさん

【10月の奥様お誕生日】...♪♪♪ おめでとうございます。♪♪♪
 10月17日 菅野征子様(浩司会員) 10月23日 川又麻理様(康彦会員)

.....lunch time.....

◆会長あいさつ

本日は飯坂消防署長金子様としんたつロータリークラブの西川様はじめ引地様、伊藤様、菅野様、皆様にお越しいただきましてありがとうございます。今日はスケジュールが盛りだくさんですので、私の時間は少しだけにさせていただきます。先日、千葉県の方に行きバナナ栽培を見学して参りました。やがてバナナやマンゴーを作るような時代がすぐそこまで来ているのではないかと思います。今のバナナは南洋のようにあまり暑くなくていいらしいのです。どうして教えてくれるのかお聞きしたら、東北でもバナナを栽培出来て成長するのだということを知ってもらいたいということでした。ところがバナナの苗は1本3万円だそうで、結局は苗を上手に売る手法なのです。投資としては難しいのですが、チャレンジする事は素晴らしいと思って見て参りました。今日ご披露したいのは、その後見学に行ったみずほ農園の社長さんの考え方です。生産者と販売者、消費者が絆で結ばれていないと良い商売も何も出来ないという話で、観光バスはお断りという面白い社長さんで、「俺は日本の皆さんに安全な食材を提供している」という考え方なのです。これからの運用はそういう絆や信頼関係を持って、今年はいっぱい収穫出来たから安いとかということではなく、生活水準を守るためにはそういう路線に私たちも考えていかなくてはならないのではないかと考えて参りました。



◆福島しんたつRC 副会長 西山博美 様

福島県の中でも一番若いクラブで今年6年目です。今日はメーキャップさせていただきます。皆様もご存知だと思いますが衛星クラブというものがあります。これはクラブの中のクラブで、伝統あるクラブの中にこそ若い人たちが育つ環境が必要です。若い人たちに入会していただき、衛星クラブを活用していただき、飯坂さんが益々隆盛になるようにしていただきたいと思っております。

◆幹事報告 村上裕司 幹事

- A. 来 信 ①ガバナー 平井義郎 氏より
 「芳賀 裕ガバナーエレクト国際協議会壮行会 「補助金管理セミナー開催の案内」
 大橋廣司パストガバナー 規定審議会壮行会 開催の案内」
 とき、12月 9日(日)
 とき、12月 1日(土) ところ、サンパレス福島 ところ、ホテル華の湯
- B. メーキャップ報告 10/14 猪苗代湖松橋浜水草除去作業 吾妻一夫、村上裕司、安齋忠作、服部裕一、菅野浩司、生田目正志、西山友幸、佐藤喜市郎、佐藤真也 各会員



《奨学金の贈呈 米山奨学生 レー クエン ダットさん》今月は飯坂けんか祭りに参加させていただきありがとうございます。実際に参加すると神輿が町内を練り歩いて、みんなの太鼓の響く音と「わっしょい」という声をかけて、祭りの雰囲気がいよいよ盛り上がると実感しました。夜、屋台に灯が灯ると幻想的になりました。貴重な体験をさせていただいて本当にありがとうございました。

◆国際交流フェスティバルの報告 生田目正志 委員長

おかげ様で毎年恒例の国際交流フェスティバルも順調に終わりました。皆様のご協力ありがとうございました。また来年もやりたいと思っておりますので宜しくお願いします。

◆猪苗代湖水草清掃の報告 佐藤喜市郎 委員

猪苗代湖の水の浄化ということで飯坂クラブから吾妻会長、幹事さん以下総勢11名で参加して参りました。中村玄正理事長より猪苗代湖の状況が説明され、その後、皆さんで一生懸命汗を流して参りましたのでご報告いたします。

◆スマイリングBOX 中島定宏 副委員長 【合計3-40】

100円缶献金 17,003円
ありがとうございました！

福島しんたつRC	西川博美 様	1,000円	今日はお世話様になります。
福島しんたつRC	引地勝則 様	1,000円	お世話になります。
福島しんたつRC	伊藤 彰 様	1,000円	今日はお世話になります。
福島しんたつRC	菅野将弘 様	1,000円	本日はメーキャップとして飯坂ロータリーの例会に参加させて頂き誠にありがとうございました。
吾妻 一夫 会員	H 飯坂消防署長金子照夫様、そしてしんたつRC西川様始め4名をお迎えして		水草取りお疲れ様でした。
石川 邦俊 会員	H 飯坂消防署長さんをお迎えして		日々大変お世話になっています。宜しくお願ひ致します。
佐藤喜市郎 会員	H 金子飯坂消防署長様をお迎えして		しんたつRCの西川様と会員の方々をお迎えして
菅野 浩司 会員	H 金子飯坂消防署長様をお迎えして		家内の誕生日に素敵な花束をいただきありがとうございました。
佐藤 真也 会員	S 飯坂消防署長金子照夫様ならびにしんたつロータリークラブの皆様をお迎えして		早速おわびとして
安斎 忠作 会員	S 金子飯坂消防署長様をお迎えして		
渡辺 達也 会員	S 金子飯坂消防署長様をお迎えして		前回欠席おわび
鈴木 正実 会員	S 妻の誕生日に素敵な花束ありがとうございました。本人はいたく感激していました。		
村上 裕司 会員	T 飯坂消防署長金子様、スピーチ宜しくお願ひします。しんたつロータリーの皆様、本日はありがとうございます。		
中島 定宏 会員	T 金子署長をお迎えして		前回欠席おわび

◆ 会員スピーチ 飯坂消防署 署長 金子照夫 様



皆様、改めましてこんにちは。只今ご紹介にあずかりました飯坂消防署長の金子でございます。皆さんのお手元の資料をご覧ください。大項目として2つ挙げてあります。一つ目に「近年の地震災害」、二つ目に「福島市消防本部のあらまし」ということでお話しいたします。最初に**福島市消防本部のあらまし**から、市内には3つの消防署、2つの分署、3つの出張所と8か所あります。消防署は現在約260名の職員がおり、その内200名が隔日勤務になっております。朝8時30分から翌日の8時30分まで24時間勤務です。また、県内に消防本部は12か所ありますが、そのうち市単独の消防本部は福島市といわき市の二つです。他は広域や組合の本部で市町村が混じっている本部になっております。昨年の火災種別の出火件数をご覧ください。昨年福島では88件ありました。この内建物火災が59件、車両火災が13件、その他の

火災が15件ですが、これは下草やごみ置き場のごみ等が入っております。次に過去10年間の火災発生ですが、平均は93件で、近年は火災の件数も少なくなってきました。今年火災発生状況ですが、今日現在で福島は64件発生しております。昨年よりも若干少なくなっています。建物火災出火時間帯別出火状況ですが、17時から19時、10時から13時が多い時間帯です。出荷原因のワースト1位は放火、放火の疑いです。これは平成13年から17年連続トップです。県内全国見ましても非常に多くどこでも1位か2位を占めております。住宅用の火災警報器の設置率について、全国の平均が81.6%です。福島県が75%で福島市も75%（条例適合率が57%）ということです。これは住宅に1個でも付いていれば設置率に入りますが、条例適合率は住宅の中でも付けなくてはならない部屋全て付いているかどうか。全て付いていれば適合になります。取り付ける場所は、全ての寝室、階段を上った天井や壁等があります。まだ付けていない方がおりましたら設置をお願いいたします。福島市の救急概要ですが、福島市消防本部の救急体制は福島市では現在救急車が10台運用しております。昨年の救急の出動件数は1万2404件です。今年は今現在1万220件です。出動件数の推移ですが、平成20年から右肩上がりに上がっていますが、原因は分かっておりませんが平成28年に若干減っております。去年からまた上がっており、昨年は1日平均34件で、東日本大震災の平成23年は1日28件、震災の日は約2.5倍の70件ほどありました。この日に限ってはどこも救急車が出払っており、なかなか現場に到着できず1時間以上かかった事もありました。最後に程度別搬送人員の割合ですが、このグラフを見ますと軽症者が49.0%です。救急の軽症者というのは病院に行きまして、その日の内に帰られるという程度が軽傷です。言い換えればタクシーを呼んで行ってもいいような事案で、救急車の適正利用につきましては不適切という場合が多く見受けられます。それを言うとはひどい症状でも我慢して救急車を呼ばないという方も出てきますので、一概に言えない辛いところもあります。搬送人員割合は高齢者が62%です。

最初に戻り、**近年の地震災害について**お話しさせていただきます。記載してあるのはあくまでも日本国内の平成に入りましてからの震度6以上の地震です。地震には段階的に10段階あります。また、どうして震度5と震度6で強弱に分けたのか、同じ震度でも地区によって建物の倒壊の割合や被害の状況が違ってくるので分けられました。平成7年の兵庫県南部地震（阪神淡路大震災、阪神大震災）での死者行方不明者は6437名。負傷者は4万3800名の方が怪我をされております。当初は震度6で発表されましたが気象庁も震度階級について問題点が示されまして、体感震度と計測震度の併用を平成8年の4月から全て計測震度計、機械観測で判定をするようになりました。それで震度6から震度7に修正になりました。東北地方太平洋沖地震について、これは平成23年3月11日ですが、これは600年周期という政府の地震調査委員会（地震調査研究推進本部）によって行われた宮城県気仙沼市大谷海岸では過去6千年間に三陸から房総にかけて約600年周期で海溝型地震と津波が起こっていました。今年の3月に総務省で発表された数字は、この地震の死者は2万2199人の方が亡くなったり行方不明になっております。1900年以降、東日本大震災は4番目に大きな地震でした。次に2016年の熊本地震ですが、前震が4月14日21時26分、本震が4月16日1時25分に震度7の地震が発生しております。死者50名でした。この本震はマグニチュード7.3ということでこれは阪神大震災と同じ規模です。同じ規模で2回観測されたのは観測史上初めてでした。また、地元消防団の方が住人の方を助け出したという報道がありましたが、実際に50名ほどの方を助け出したと聞いております。大災害になりますと、消防、警察、自衛隊等の公的機関が現場に来るまで、消防団が大きな力になります。過去の震度7の地震ですが、過去6回発生しています。最近9月6日に北海道でありました。北海道胆振東部地震ですが震度7が平成7年、二回目が平成16年で9年後になります。その次が平成23年、その次が平成28年です。9年後、7年後、5年後と来まして、そうすると次は3年後の平成31年が危ないということでしたが、2年後の平成30年に起きてしまいました。最後に宮城県沖地震について、これは過去6回しか発生しておりません。宮城県東方沖の大陸プレートを震源とするマグニチュード7.5前後の地震です。一番最近昭和53年です。過去の発生の最も短い間隔が26.3年です。もっとも長い間隔42.4年、これが平成32年になります。平均は37.5年です。あくまでも過去のデータですが、ただ30年以内に99%で地震は発生すると地震調査委員会が発表しています。今日でも明日でもいつ起きるかかわらないのです。時間となりました。最後までご清聴ありがとうございました。

◆閉会点鐘 会長